

平成 28 年度市自委第 5 号協働パイロット事業  
「事業所による継続的な授産製品販売店舗 P R 活動  
のための基盤整備事業」業務

cocore

1 委託事業の名称

平成 28 年度市自委第 5 号協働パイロット事業

「事業所による継続的な授産製品販売店舗 P R 活動のための基盤整備事業」業務

2 事業の目的・趣旨

授産製品販売店舗のホームページ及び Facebook ページを作成し、授産製品販売店舗を PR する仕組みを作るとともに、各事業所による継続的な Facebook ページの更新を可能するための基礎研修を実施し、授産製品の売り上げの向上につなげる。

3 事業期間 平成 28 年 7 月 4 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

4 実施箇所 静岡市内

5 事業実施内容の報告

(1) 基礎研修の実施通知及び参加者の募集

① 基礎研修会「授産製品 PR 活動基盤整備について」概要

日 時 : 8 月 24 日 (水) 13:00 ~ 15:00

場 所 : 城東保健福祉エリア 3 階 第 3 研修室

参加者 : 13 名

**内 容**

- @ PR 活動基盤整備の概要と Facebook のい使い方
- @ 商品写真の上手な撮影の仕方・・・講師：望月やすこ (カメラマン)
- @ 人を引き付ける文章の書き方・・・講師：永野香里 (ライター)
- @ 実践！イチオシ商品の写真撮影と PR 文を書いてみよう！

**講師紹介**

★望月やすこ (カメラマン)

所属：フォーシーズン

お母さんのための写真講座などの講師としても活躍

SBS「Sole いいね！」にレギュラー出演

著書「子連れのタダビバ」



★永野香里 (ライター)

「ほとんど知らなかったグッズと人に出会える本」執筆

(浜松市の授産品を PR する冊子)

(浜松市障害保健福祉課 発行)



② 研修会ちらし（別紙1）

③ 参加者の募集

参加者の募集については静岡市障害者福祉課が各事業所にメールにて広報をおこなった。

8月8日 市内就労継続支援A・B型事業所に一斉送信

8月18日 報道資料投げ込み

(2) 研修会の開催

①参加者について

参加者数 13名

参加者リスト（別紙）

- 1 松岡 純 ラポール川原
- 2 黒瀬 和成 視覚サポートなごみ
- 3 小林 弘和 ウイン作業所
- 4 山本 晴美 "ラポール・タスカ（ベンチタイム）"
- 5 大河内こずえ "ラポール・タスカ（ベンチタイム）"
- 6 松浦 進 ネットワークひこばえ
- 7 前田 博司 フリーダム ※手話通訳 派遣
- 8 福井 覚 フリーダム
- 9 山本 玲 ラポール・ファーム
- 10 内山 美奈 ライク
- 11 小澤 美佐 みすず
- 12 深見 智史 ラポール川原みなみ
- 13 西 由美 げんきだま

②スケジュール

13:00～ オープニング

PR活動基盤整備の概要とFaceBookの使い方

13:20～ 研修① 商品写真の上手な撮影の仕方 講師：望月やすこ

13:50～ 休憩（10分）

14:00～ 研修② 人をひきつける上手な写真の撮り方 講師：永野香里

14:30～ 研修③ 実践！イチオシ商品の写真撮影とPR文を書いてみよう

14:55～ クロージング

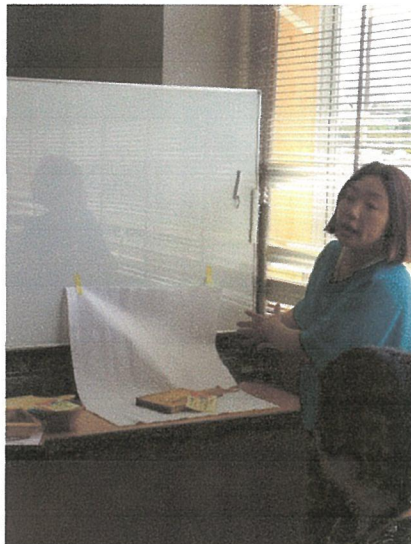
15:00 終了

### ③ 役割分担

8月24日「授産製品PR活動基盤整備について研修会(静岡市パイロット事業)」タイムスケジュールおよび役割分担表(案)

time	プログラム	詳細	福祉課(大畑)	望月	永野	須田	名倉	小林	山本	北條
11:30	スタッフ集合	主な役割	受付	講師	講師	総括	照明 グループA	記録 グループC	案内	PC グループB
	準備		受付設営			音響	会場設営 リーダー		会場設営	パワポ・ スクリーン
12:30	受付開始	受付・資料配布	受付	集合	集合	総括	講師案内	参加者案内	受付	受付
13:00	研修会スタート	オープニング				司会			遅刻者 案内	
		FaceBookの使い方				説明	照明	カメラ		パワポ
13:20	研修①	商品写真の上手な撮影の仕方		講師			照明	カメラ		パワポ
13:50	休憩						照明	カメラ		パワポ
14:00	研修②	人をひきつける文章の書き方			講師		照明	カメラ		パワポ
14:30	研修③	実践！イチオシ商品のPR		講師	講師			カメラ		パワポ
14:55	クロージング					司会		カメラ		
15:00	終了	片付け	片付け			片付け	片付け	片付け	片付け	片付け

### ④ 写真





(3) ホームページ、Facebook、告知ポスターの製作

①ホームページ製作

<https://shizuokacityjusan.wixsite.com/shizufuku>



②FaceBook 製作

<https://www.facebook.com/shizuokafukufuku/>



③ 告知ポスター製作

現物添付

(4) ホームページ、Facebook の管理、更新状況のモニタリング

- ・参加の追加募集（別紙）
- ・事業所へのアンケート実施 10月4日 静岡市障害者福祉課よりメールにて配信（別紙）
- ・電話対応
- ・メール、メッセージ等の対応
- ・事業所訪問
  - 9月8日 ひこばえ
  - 11月10日 みすず
  - 12月8日 ライク
  - 12月8日 ラポール川原
  - 12月16日 みすず
  - 12月16日 ラポール川原・みなみ
- ・FaceBook ページへの投稿のチェック／コメント

(5) 事業の評価及び成果報告

①FaceBook ページ「しずおか福ふく生活」

FaceBook ページ「しずおか福ふく生活」へのページ「いいね！」数は、3月26日現在111人となり、今年度の目標であった100人を超えた。

②事業所の「しずおか福ふく生活」参加状況

参加事業所は3月26日現在9事業所となっており、まだまだ参加が少ないのが現状である。

参加を呼び掛けるため静岡市障害者福祉課と協働してメールによるアンケートを実施した。（アンケート集計表別紙）

アンケート後に2件登録と1件のお問合せがあった。

③事業所による投稿の状況

現在1日～2日ごとに記事の投稿が行われていて、いいね！やコメントもいただいている。

しかし、特定の事業所の投稿が目立ち、投稿していない事業所もある。メッセージや電話でフォローをしているが、担当者の苦手意識や、慣れていなくて時間がかかることが理由で投稿が進まないようである。事業所によってSNS対応

レベルに大きな差があることが浮き彫りになった。

多くの事業所が活発に投稿してくれるための工夫が、来年度の事業に期待される。

## 6 実施の結果

### (1) 協働の効果

市と協働したことにより研修の通知や会場の確保などを団体が独自に取り組むよりも効果的に行うことができた。また福祉事業所へのアンケートの実施など事業の進捗に柔軟に対応し、お互いに提案しあい役割分担し実行できた。

・障がいを持つ方の工賃向上、販売店舗のレベルアップに寄与する事業を市との協働により取り組んでいることが注目され、メディアに取り上げられた。広く活動を知っていただくことができたと思う。

### (2) 今後への提言

授産製品 PR に関しては、福祉事業所によってレベルが大きな差があり、独自に進められている事業所もあれば、全くできない事業所もある。本協働事業では、誰もが簡単にできる Facebook を活用することで、どんな事業所でも効果的な PR ができる方法を提示した。しかし 1 回の研修会では Facebook の使い方が習得できなかった事業所もある。今後、さらなる研修会やアフターフォローをしていく必要がある。

また参加事業所が少ないことが、何を意味するかを慎重に検討し、今後の方向性を決めていく必要がある。

cocore としては、本事業を通じて、多くの事業所とつながりが持てたことが大きな収穫となった。障がいのある方のアート作品の収集や、アーティストの発掘、アート活動の普及などにつなげていきたい。

### (3) 協働相手（障害者福祉課職員）の意見・感想

Facebook 運用前に開催した勉強会では、特に商品撮影に関するプロカメラマンの指導が参加者の好評価を得た。運用開始後は、写真撮影時の背景への小物の活用や、使用感を表現するための人とのサイズ対比の技術を積極的に利用した投稿が見られている。

商品の紹介だけでなく、障害者施設の日々の様子などについても積極的に配信し、理解啓発につなげたい狙いに即した投稿も頻繁に行われている。

平成 29 年 3 月においては 2 日に 1 回以上の投稿が行われており、Facebook ペー

ジに対する「いいね！（フォロー）」数も 100 件を超え、目標を達成している。

取組に参加している障害者施設の職員からは、SNS の活用方法について複数回の勉強会を設けて、引き続き指導を受けたいとの意見が出ている。

## 7 感想（所感）

静岡市障害者福祉課より提示のあった「授産製品展示販売店舗の周知・広報媒体の作成」という課題に対し、cocore が培ってきたノウハウが活用できると考えこの事業を応募した。事業を進める中で、当初の「店舗の PR」から「事業所の PR」へと課題が変化していったり、参加事業所の数が少なかったりして、計画通りに進まない状況もあった。

しかし、それらをお互いに話し合い理解し合い、再募集やアンケートなど計画の変更や追加をおこない、柔軟に対応することができた。

## 8 協働・協力機関

静岡市保健福祉長寿局 障害者福祉課

## 9 担当スタッフ

### （1） 須田亜紀（cocore）

全体総括

### （2） 名倉美紀(cocore)

研修会スタッフ

事業所聞き取り調査

### （3） 小林加奈(cocore)

研修会スタッフ

### （4） 山本まちこ(cocore)

研修会スタッフ

### （5） 利根川初美（823design）

ポスターデザイン

### （6） 永野香里

研修会講師・ポスター監修

### （7） 望月やす子

研修会講師